幸せになる生き方のヒント

陽光ライフ

Yōkō Life

●健・和・富●

503号



〝幸せになりたい〟あなたへ

健康で、争いがなく、経済的に不安のない生活を求める方に

崇教真光

釧路中修験道場

釧路市鳥取南 5-1-1

☎0154(52)5588

根室準道場

根室市曙町 3-13

☎0153(24)8091

中標津準道場

標津郡中標津町緑町北 1-8-11

☎0153(73)3265

【おことわり】お留守の時や時間の都合等で、ポストに入れさせていただく場合もありますが、不要と思われる方は誠に恐れ入りますが処分して下さいますようお願い致します。

監修 / 崇教真光　発行所 / 弘文社：東京都府中市八幡町１－４－３

503号　釧路版

Q&A

Q：真光の業（手かざし）の特徴はどのようなものでしょうか？

A： 神の高次元の光である真光の業を受けると、魂と心、肉体が浄められるだけでなく、霊の世界や、目に見えない神の実在を感じとることができるようになります。

Q：真光の業は誰にでも簡単にできるのでしょうか？

A： 特に難しい修行のようなものはありません。満 10 歳以上であれば老若男女・人種・国籍・宗教などを問わず３日間の初級真光研修会の受講によって真光の業ができるようになります。

Q：真光の業を受けるにはどうすればよいのですか？

A： まずはお近くの道場・拠点へお電話、もしくは直接お訪ねください。そこで真光の業を体験することができます。



崇教真光は、1959(昭和 34) 年に立教し、全世界 75 ヵ国に拠点を開設しています。老若男女を問わず約 100 万人の人々が真光の業を通して、幸福に暮らせる平和な社会を目指して日々活動しています。

幸福の条件ってなんでしょう？



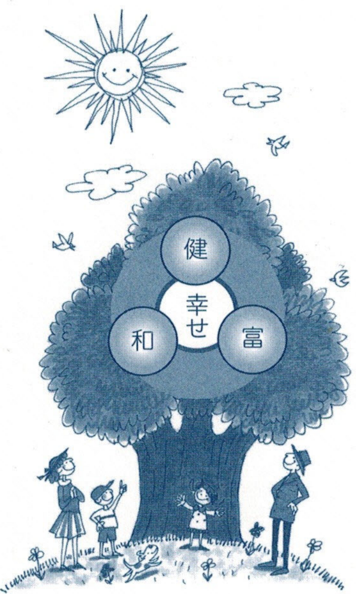
人は幸せを手に入れようと昔から努めてきました。しかし、なかなか幸せの青い鳥は見つからず、それどころか、今や世界は不幸現象（病貧争災）で満ちあふれ、一寸先は闇、明日のことは予測がつかない状況ではないでしょうか？
人生の目的は幸福になることです。そしてその条件は
『健』（人生に狂いがない。無病化＝病気をしない体）
『和』（無対立＝争う心が起きない）
『富』（脱貧＝貧しさからの脱出）
私たちはこの３つがそろった状態を幸福と考えています。なぜなら３つのうちの１つでも欠ければ、決して幸せとは言えないからです。例えば「家族全員健康で、みんなの仲が良くても、今日食べるものがない」という状況では幸せとは言えないでしょう。また「家族仲良く、お金に不自由していなくても家族の誰かが病気」という状況でも幸せではないはずです。さらに、「家族全員が健康で、お金に不自由していなくても毎日争いごとを繰り返す」ようでは、とても幸せとは言えません。ではどのようにすれば幸せになれるのでしょうか。

幸福へ導く真光の業（手かざし）

真光の業は、手をかざして手のひらから高次元の神の光を放射し、一切を浄める業です。神の光を受けると知らず知らずのうちに魂と心、そして体までもが浄められていきます。それによって現代人が見舞われる病気や金銭問題、人間関係のトラブルなど、あらゆる悩みや問題が不思議と解決していくのです。

不幸の原因・霊的障害を解消し、健・和・富のミチへ

私たちが生きているように、実は亡くなった人々や私たちの先祖の霊魂もあの世（霊界）で生きています。しかし、中にはあの世を脱け出して私たちに悪影響を及ぼす霊もいます。また、本来子孫を守って下さる先祖も、供養をおろそかにしていると〝正しく祀ってほしい〟と訴えてくる場合もあります。不幸現象の多くはこのような霊的障害（霊障）によるものです。真光の業を体験していくことにより、死後の世界や霊の実在、ひいては神の実在が体感できるようになります。そして、真光の業は霊障を発見すると共に、それを解消することができます。霊障が解消すれば私たちは健・和・富に変わっていきます。



健・和・富のそろった幸せな生活を実現するための第一歩として、お近くの崇教真光の道場・拠点で、真光の業をご体験ください。

体験談

取り戻した家族団らんの日々

東京都 中村 篤子

我が家は夫の借金が原因で、生活に困窮する日々を送っていました。以前、脳出血を起こした夫は、麻痺が残る不自由な身体で仕事をしていましたが、返済はうまくいかず厳しい取り立てに遭い、夫は家族を気遣って別々に暮らすようになりました。更に、私の勤務する会社が突然倒産し、生活への不安から、私は精神的に参ってしまいました。
そんな時、親戚から崇教真光を紹介され、初級研修を受講しました。講義の中で霊障の実例や、正しい先祖供養についてのお話を聞き、私は長年待ち望んでいた教えに巡り会ったことを確信したのです。感動のあまり娘に研修会で学んだことを伝えると、娘も初級研修を受講しました。その後、親子で真光の業（手かざし）に励む中、研修会で学んだ正しい先祖供養を早速行いました。するとその日を境に、これまで夫を責め、許せないでいた自分の心が変わっていくのを感じ、夫に対する申し訳なさが込み上げてきました。
それからしばらくたったある日、夫にも変化がおきました。転職先が決まり、仕事の条件や生活環境が改善されたのです。さらに、毎週末に帰宅する夫に手かざしをするようになると、だんだん夫の顔付きが柔和になり、言葉遣いも優しくなり、些細なことで笑い合え、家族団らんの時間をすごせるようになったのです。娘も「お父さんが別人になったみたい」と喜びました。その後私も就職が決まり、夫は身体の麻痺が軽減していく中で返済が進み、ついには借金を完済することができました。現在、生活は安定し、家族皆が幸せに暮らせる有難さを感じています。